

総合的な学習の時間 福祉体験学習「手話教室」

開成町立文命中学校



単元（題材）目標

- 地域の福祉活動への関心と理解を深め、自らの人間形成を図り、共に手を携えて心豊かに生きる精神を養う。
- 体験的な学習を通して自己の生き方を考えとともに、積極的に福祉活動に参加できる意欲を高める。

（1）実施時期

平成30年2月21日（水）

（2）対象（学年等・人数）

第1学年 全学級 171名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

手話サークル「かたつむり」



（4）実施内容

- 手話の基礎知識
- 簡単な会話（あいさつ、自分の名前、感情表現等）
- 指文字による五十音の表し方
- 歌に合わせて手話

（5）成果

- 9月に実施した難聴理解教室に引き続き、コミュニケーションツールとしての手話体験は、聴覚障がいに対する理解をさらに深めることができた。
- 手話に興味を持ち、手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。

〈生徒感想 一部抜粋〉

- 手話は、聴覚障がいの方同士のためだけではなく、みんなが知ることでコミュニケーションをとれるようになる。お互いが理解し合うために必要なものだと思う。

（6）その他

- 3年生においては、文化祭の学年合唱に手話を取り入れた発表を行った。
(練習時に手話団体の方を講師に招いた)